

施策評価調書(23年度実績)

施策コード I-1-(1)

政策体系	施策名	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備	所管部局名	福祉保健部	長期総合計画頁	25
	政策名	子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～	関係部局名	福祉保健部、商工労働部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	地域における子育ての支援	子育ても仕事もしやすい環境づくり

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		23年度			24年度	27年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i	①	H16	16	9	11 (概報値)	94.9%	8	5						
ii	①	H22	59	62	61	98.4%	65	71						
iii	①	H22	10	10	10	100.0%	11	18						
iv	①	H16	86	126	132	104.8%	129	135						
v	①	H16	131	184	190	103.3%	186	200						
vi	①	H22	13	15	13	86.7%	17	22						
vii	①	H16	165	260	261	100.4%	266	287						
viii	②	H16	68.7	75.4	77.6	102.9%	76.5	80						
ix	②	H22	5	8	8	100.0%	10	20						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等	平均評価
i	概ね達成 保育料の軽減や子ども医療費助成等様々な施策を実施してきたが、目標値を達成できなかった。なお、23年度の実績値は24年9月末頃確定のため、実績値については概報値を記載している。	達成
ii	概ね達成 目標値は達成できなかったが、地域子育て支援拠点への研修等の支援事業や市町村への積極的な働きかけ等により、事業推進の理解が進んでいる。	
iii	達成 担当者会議の開催等、実施主体である市町村への積極的な働きかけ等により、目標値を達成した。	
iv	達成 保育所説明会等を通じ、取組の拡大についての働きかけを行ってきたところ、ニーズの拡大に対応する保育所が増加し、目標値を達成した。	
v	達成 保育所説明会等を通じ、取組の拡大についての働きかけを行ってきたところ、ニーズの拡大に対応する保育所が増加し、目標値を達成した。	
vi	達成不十分 実施主体である市町村に対して、市町村説明会において取組を依頼するなど働きかけを行ってきたが目標値を達成できなかった。今後とも、市町村への直接的な働きかけのほか、実施の可能性のある医療機関や保育所等の掘り起こしに努める。	
vii	達成 放課後児童クラブの設置や運営経費に対する支援の実施等、市町村への積極的な働きかけ等により、目標値を達成した。	
viii	達成 「おおいた子育て応援共同宣言」等を基本に、企業に対するワーク・ライフ・バランスの推進を図ることにより、目標値を達成した。	
ix	達成 「おおいた子育て応援共同宣言」等を基本に、仕事と子育て両立支援モデル企業の認定を推進することにより、目標値を達成した。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	評価
①	・8か所の私立保育所の施設整備を行い、保育所を利用する子どもの安心・安全の確保が図られた。 ・妊娠期から子育て支援との繋がりがつくりを行う「プレママ・プレパパスクール」等の取り組みが、24年度13市町において実施されることとなった。
②	・「おおいたパパくらぶ」(パパ講座)3地域各6回の開催等により、地域におけるパパ達の自主的な活動の推進等に繋がった。 ・仕事と子育ての両立支援のため、男性の子育て支援に取り組む企業を対象に、奨励金の交付やアドバイザーの派遣を希望する両立支援のモデル企業を募り、H22～24年度までに15社を指定した。

【V. 施策を構成する主要事業の評価】

取組No.	事業名	事務事業評価		事業コスト (千円)
		総合評価	掲載頁	
①	1 子育て支援臨時特例対策事業	廃止(24年度末)	33	548,309
	2 大分にこここ保育支援事業	現状維持	34	228,977
	3 市町村児童環境づくり基盤整備事業	見直し(23年度)事業内容の拡充	—	393,422
	4 児童福祉施設整備事業	現状維持	—	26,331
	5 子育て応援社会づくり推進事業	終了(23年度末)	—	10,343
	6 子育てハッピースタート推進事業	終了(23年度末)	35	13,859
②	1 子育て満足度向上推進事業	終了(23年度末)	—	45,695
	2 子育て支援企業ステップアップ事業	現状維持	101	20,193

※ 施策評価調書の【V. 施策を構成する主要事業の評価】の「事務事業評価」欄に記載している「掲載頁」は、「主要な施策の成果」の頁数を表している。(以下同様)

【VI. 主な取り組みの進捗状況・今後の課題】

進捗状況	取組No.「①地域における子育ての支援」について、やや遅れている。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の質と量を拡充するための保育所及び認定こども園の設置促進 ・多様な保育ニーズに対応する延長保育や病児・病後児保育等の更なる推進 ・地域子育て支援拠点の設置促進、家庭等に出向き支援を行うなどの機能の充実 ・ワーク・ライフ・バランスの推進に関し、トップの意識改革や社会全体での理解の促進を図る支援策の強化

【VII. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会(H24.7) ・病児・病後児保育は、小児科や看護学校等と連携して実施するなど、推進を図ってほしい。	○「おおいた子ども・子育て応援県民会議」(H24.6) ・ワーク・ライフ・バランスの推進は、経営が厳しい中小企業がどうやってそれらを受け入れていくかが大事。そのためにも、県下で取組が進んでいる企業を積極的に良いロールモデルとして紹介していくべき。
--	--

【VIII. 今後の施策展開について】

今後の方向性	施策展開の具体的内容
拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の整備状況を把握し、市町村の計画的な保育所整備を支援するとともに、市町村と連携し、認定こども園の設置を促進する。 ・保育所及び市町村への説明会や訪問指導等により、多様な保育ニーズに対応した延長保育、病児・病後児保育等の拡充を図る。 ・保育サービスに携わる人材の確保、質の向上を図る。 ・地域の子育て支援の機能強化として、訪問型子育て支援(アウトリーチ)事業の拡充に取り組む。 ・男性が育児休業を取得した場合の経済面での補助制度や、ワーク・ライフ・バランスを導入した先進企業の経営者等による、トップセミナーや勉強会、意見交換会等の開催によりワーク・ライフ・バランスの普及・啓発を図る。